

来週の市場とレート予想

	3/7(月)	3/8(火)	3/9(水)	3/10(木)	3/11(金)
無担保O/N	▲0.080% ~ 0.001%				
銀行券	+ 1,100	+ 1,000	ト ン	ト ン	ト ン
財政債	△ 4,300	+ 1,000	+ 1,000	△ 5,000	+ 5,000
資金需給	不 3,200	余 2,000	余 1,000	不 5,000	余 5,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)			国庫短期証券発行・償還(6M) 10年物価連動国債償還	交付税特会借入・償還
オペ期日	共通担保(全店) △ 500 成長基盤強化 △ 100 CP等買入 △ 700				
オペスタート	共通担保(全店) + 200 成長基盤強化 + 100	国債買入 + 12,600 短国買入 + 7,500			
(日本)	黒田日銀総裁講演(読売国際経済懇話会) 日銀の対政府取引(2月) マネタリーベースと日銀の取引(2月) 景気動向指数(1月) コール市場残高(2月)	GDP(10-12月、改定値)	マネーストック(2月)	企業物価指数(2月) 対外対内証券売買	マネタリーサービス(1月)
(海外)	米 ブレイナードFRB理事 米 FRB副議長講演 欧 ユーロ圏財務相会合 欧 EU首脳会議	欧 EU財務相理事会		米 新規失業保険申請件数 欧 ECB金融政策発表 欧 ドラギECB総裁記者会見	

[インターバンク市場]

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	▲0.08 ~ 0.001
SPOT 2M	▲0.08 ~ 0.001
SPOT 3M	▲0.08 ~ 0.001
SPOT 6M	▲0.08 ~ 0.001

<インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初258兆円台から始まり国債買入オペ・短国買入オペにより1日259兆円台まで増加したが、2日に税揚げ要因から255兆円台まで減少し、256兆円台で越週した。無担保コールON物は週を通して主に▲0.01~0.001%のレンジで取引され、同金利の加重平均は▲0.003~▲0.001%で推移した。ターム物は1~3Wの期間でゼロ近傍の取引となった。今週は、積み期間後半入りしたこと、税揚げ以降のポジション見直しが見られたこと等により、地銀を中心に資金調達サイドの裾野が広がったため取引量は増加基調を辿った。無担保コール市場残高は3日4兆円台まで回復し、マイナス金利が導入されて以降の最高水準に達した。来週の材料としては、国内は黒田日銀総裁講演(7日)、海外では、ECBの政策金利発表・ドラギECB総裁記者会見(10日)等が挙げられる。

[オープン市場]

CP3M(a-1+)	0.000 ~ 0.005
TDB 3M	▲0.200 ~ 0.000
現先(on/1w)	0.0001 ~ 0.005

<CP>

今週の入札発行額は約3,600億円で、期落ち額約5,600億円(金融機関・ABCP除く)を下回った。カード会社の複数大型案件の継続発行がなく、償還超となった。a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.0010%割れで推移した。現先レートの中心は、0.0001%~0.0050%程度で推移した。来週の期落ち額は約9,300億円程度となっている。

<TDB>

3日に国庫短期証券3M第592回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.0902%(前回債△0.1002%)、平均落札レートは△0.1018%(前回債△0.1066%)と前回債から利回りはやや上昇した。セカンダリーは3Mで△0.095%近辺の出合い。6M、1Yは目立った出合いは見られなかった。来週は8日に6M、10日に3Mの入札が行われる予定である。

<レポ>

足許GCは週初▲0.01%近辺の出合から始まった。4日受渡では一時▲0.03%近辺まで低下したが、TDB3M発行日となる7日受渡では▲0.01%近辺の水準に戻った。週末には短国買入オペ・国債買入オペが合計2兆100億円オフアールされ、出合の水準が低下。▲0.06%~▲0.05%近辺の出合も見られた。SCは10年341回債が週を通して強いネガティブレートで取引され、4日受渡以降は▲0.40%以下での出合も多く見られた。他では5年124・126回債、10年328・331・336・337・338・340回債、20年155回債、30年48・49回債、40年7・8回債等に引合が多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。